

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	都市OS活用事業			事業番号	001-026
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部	先進事業担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②まちや暮らしにイノベーションを生み出すスマートシティの推進				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	行政手続きのオンライン化率				
		寄与するKPI	有	現状値	58.1%(2019年度)	目標値	100%(2025年度)		
		有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3			
		有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進					
		有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	・堺スマートシティ戦略 ・SENBOKU New Design			
3	事業開始年度	令和 4 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民 (まずは子育て世代をターゲットとする)	対象数	単位	
			—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<p>・堺市では、令和3年度に策定した「堺スマートシティ戦略」において、多様なデータの連携、蓄積、活用による住民サービスの創出、改善や共通のID基盤によるシームレスなサービス提供を実現する都市OSの構築を戦略方針として掲げ、検討を進めてきた。</p> <p>・令和4年度からは、大阪府が整備する広域都市OS「ORDEN」を活用し、堺市で展開する複数のサービスをひとつのID(SakaI-D)によって関連付け、各種の行政手続きや地域情報の発信、健康増進、環境行動、福祉、子育て・教育、交通、観光、都心や泉北地域等エリア活性化など、さまざまなサービスをデータでつなげ、様々な分野において市民生活の質の向上や都市魅力の創出につなげる「SakaI-D」構想の実現に向け検討を進めた。</p> <p>・令和5年度は、大阪府のORDENを活用し、子育て世代をターゲットに、子育て情報や行政サービスの電子申請やお知らせを配信するSakaI-Dの実証をスタートする。</p>			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>①堺市版都市OS「SakaI-D」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ID連携機能等、ORDENを活用した必要な機能等の検討、整備 ・連携機能等の整備 ・都市OSを活用したパイロットサービスの提供 <p>②有識者・専門家によるフォロー制度の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ORDENを活用事業に関し、有識者から助言をいただく。 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	補助金・負担金等 (大阪府等)			
10	公民連携・協働事業	公民連携事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	サービス数 (累計)	件数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	-	2	3	10
			実績値	-	0		
			達成率	-	0%		
	当該指標を選定した理由	都市OS整備後は利用者数を成果指標とするが、まずは定量的にわかる指標としてSakaI-Dと連携したサービス数を指標として設定					
	目標値の設定根拠・算出方法	関係課及び大阪府、事業者等へのヒアリング					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	SakaI-Dの提供 (スケジュールに対する進捗) [%]	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	-	100	100	
			実績値	-	0		
			達成率	-	0%		
	当該指標を選定した理由	大阪府の広域都市OS ORDENを活用したSakaI-Dポータルを進捗 (「SakaI-Dでのログイン」 SakaI-Dポータルの開設)が実現できている状態)を指標として設定					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5年度末のリリースをめざし、関係課及び大阪府、事業者等へのヒアリング					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	都市OS活用事業	事業番号	001-026
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	20,660	101	20,660
13 財源内訳					
国支出金			10,000	0	10,000
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源			10,660	101	10,660
14 人件費 (b)	0	0	2,460	2,460	2,430
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	23,120	2,561	23,090

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	SakaI-Dポータルに展開する行政サービス等の整備設定等に要する経費	R4 決算	0	0		R4 決算	
		R5 予算	20,000	10,000		R5 予算	
	有識者、専門家によるフォロー制度の導入	R4 決算	96	96		R4 決算	
		R5 予算	440	440		R5 予算	
	その他旅費	R4 決算	5	5		R4 決算	
		R5 予算	220	220		R5 予算	
		R4 決算				R4 決算	
		R5 予算				R5 予算	
		R4 決算				R4 決算	
		R5 予算				R5 予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
①		-	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	-
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 都市OSを活用した住民サービスの向上などについて、大阪府と議論や戦略アドバイザーからの助言などを得て、基本的な考え方を定めることができた。大阪府が令和5年度に住民向けのポータル機能を整備することとなったため、令和4年度には住民サービスをスタートすることはできなかったが、子育て世代をターゲットに令和5年度末の実証開始に向け検討を進めることができた。
個人への通知等の行政事務効率化による事務サービスの向上や経費削減が見込まれるシステムであり、堺市単独で構築するのではなく、構築する大阪府に協力することで、より使いやすいものを低価格で実現できる点から、費用対効果が高いと考える。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 SakaI-Dでは、マイナンバーによる本人認証により電子申請システムの利便性の向上やユーザーにとって必要な情報の配信などが実現する見込みであり、利便性を高めることでSakaI-Dを用いたオンライン化手続きが進むと考える。